

平成16年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2258
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	(仮)市道港町稲生線新設事業		
根拠法令等	公有水面埋立法・道路法・道路構造令	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道 路

②事務事業の内容

対象(受益者)	利用者に
手 段	形原漁港大橋関連の道路網を整備することで
想定する成果	交通渋滞が緩和され物流・移動がしやすく、地域の活性化と快適なまちづくりとなる

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
事業内容	埋立免許願書作成及び実施設計作成	埋立免許願書提出及び埋立免許取得、護岸築造工事に着手	護岸築造工事及び道路改良工事の完了

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	進捗率 = 累積事業費 / 事業費 × 100	

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-----	-----	100%
	実績	3.3%	31.7%	-----
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	0	49,606	127,231
	人件費	6,494	5,625	5,796
	(人数)	0.8	0.7	0.7
	合計	6,494	55,231	133,027
財源内訳	国			
	県			
	市債		27,200	80,300
	その他			
	一般財源	6,494	28,031	52,727

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	埋立免許取得および埋立工事に着手し、目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	必要最小限の埋立
事務効率性	3	3	予算に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地域、団体からの要望が強い事業
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	県道深溝西浦線・県道東幡豆蒲郡線は、西浦方面の主要幹線道路になり通過交通の割に現道が狭く大型車の通行に苦慮している状況である。また、沿道には家屋が連続し拡幅は非常に困難である。このため、本事業は早期の完了が望まれる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

埋立申請を愛知県と蒲郡市が併願することにより認可事務の短縮を図った。

⑧今後改善すべき点

道路築造と下水道事業との調整を図り計画的に施工する。

⑨平成18年度予算に反映する項目

平成17年度で事業完了予定。

⑩組織、人員に関する提言

職員を育てる意味から、適正（年齢が偏らないように段階的）な配置が必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2258
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	東港整備事業		
根拠法令等	公有水面埋立法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	港湾・海岸

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民（観光客）に
手 段	老朽化した港湾施設の更新と観光基盤整備をすることで
想定する成果	地域の活性化と個性豊かな魅力あるまち（観光地）となる。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
埋立面積	57,355㎡	57,355㎡	57,355㎡
利用地面積	33,198㎡	33,198㎡	33,198㎡
未利用地面積	24,157㎡	24,157㎡	24,157㎡
草刈り面積	24,157㎡	16,206㎡	8,000㎡

④成果指標

成果指標名	①	②
	利用率	維持管理率
成果指標の説明	利用率＝利用地面積／埋立地面積×100	維持管理率＝草刈り等面積／未利用地面積×100

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-----	-----	57.9%
	実績	57.9%	57.9%	-----
成果指標 ②	計画	-----	-----	33.1%
	実績	100.0%	67.1%	-----
事業費	事業費	3,542	1,055	1,810
	人件費	2,435	1,607	1,656
	(人数)	0.3	0.2	0.2
	合計	5,977	2,662	3,466
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,977	2,662	3,466

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	最終的には、港湾施設・観光基盤整備を目指しているが、現在は、草刈り等維持事業のみにとどめ暫定利用を図っている。
経済効率性	2	2	東港埋立地維持管理委託を執行した。
事務効率性	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	市が実施するのが望ましい事業である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	市民・団体・地域が暫定利用している。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	埋立は完了し、市民・団体等の暫定利用はされているが、将来構想に向けての利用が見えてこない。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

埋立地の適正な維持管理とともに、暫定利用の促進を図っている。

⑧今後改善すべき点

平成13年3月に埋立竣工し4年経過しており埋立土地利用計画に即した計画の早期実現を図る必要がある

⑨平成18年度予算に反映する項目

維持管理費の低減を図る。

⑩組織、人員に関する提言

職員を育てる意味から、適正（年齢が偏らないように段階的）な配置が必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2258
事業コード		事務事業名	大塚地区埋立関連整備事業	
根拠法令等	公有水面埋立法・河川法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	港湾・海岸

②事務事業の内容

対象（受益者）	地元住民に
手 段	大塚地区埋立に伴い周辺を整備することで
想定する成果	快適で住み良いまちとなる

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
宮川整備	31m	21m	-----
勝川漁港跡地公園整備	-----	-----	1,545㎡（18年度以降）

④成果指標

成果指標名	① 宮川整備	② 勝川漁港跡地公園整備
成果指標の説明	整備率＝整備済累計／整備計画延長 （整備計画延長 L＝428m）	整備率＝整備済面積／計画面積 1箇所（面積1,545㎡）

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-----	-----	-----
	実績	407m 92.9%	428m 100%	-----
成果指標 ②	計画	-----	-----	0㎡
	実績	-----	-----	-----
事業費	事業費	24,633	21,601	188
	人件費	4,870	3,214	3,312
	(人数)	0.6	0.4	0.4
	合計	29,503	24,815	3,500
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	29,503	24,815	3,500

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	延長も少なく、鋼矢板の埋め殺しもあり、施工費が割高となった。
事務効率性	3	3	予算に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	3	3	地域からの強い要望事業である。
合計	13 /15 満点中	13 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	宮川の整備は完了したが、関連整備事業の最終目標である公園整備を早期完了させたい。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

公園整備予定地の有効的な利用。
 工事中の公共残土の仮置きや資材置場として利用し年間1～2件の有償賃貸あり。

⑧今後改善すべき点

さらなるコスト縮減・事務の効率化を図り、早期に事業完了をめざす。

⑨平成18年度予算に反映する項目

地元も協力的であり、最終目標である公園整備を予算に反映したい。東海地震・東南海地震が騒がれている中で、いざの時にこのような公園的広場は地域防災など多方面に有効利用できる。

⑩組織、人員に関する提言

技術を育てる意味から、適正（年齢が偏らないように段階的）な配置が必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2253
事業コード		事務事業名	形原漁港臨港道路整備費負担金事業	
根拠法令等	愛知県条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	水産業

②事務事業の内容

対象(受益者)	漁業関係者及び利用者に対し
手 段	愛知県が実施する形原漁港大橋内の施設整備に対し、負担金を支出することにより
想定する成果	水産振興の発展、地域の活性化を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
市の負担金	1,250千円	2,500千円	4,000千円
県の事業費	25,000千円	50,000千円	80,000千円
県の主な事業内容	設計委託、地質調査	樋門工 ボックス断面L=16m 護岸工L=4.65m 埋立工V=200m	舗装工 L=365m

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	市の負担金の進捗率	負担率
	累積実績負担金/負担金×100	市の負担金/県の事業費×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	100.0%
	実績	16.1%	48.4%	—
成果指標 ②	計画	—	—	5.0%
	実績	5.0%	5.0%	—
事業費	事業費	1,250	2,500	4,000
	人件費	2,435	1,607	1,656
	(人数)	0.3	0.2	0.2
	合計	3,685	4,107	5,656
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,685	4,107	5,656

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	当初の計画のとおり17年度で完了できる見通しである。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	県事業に伴う、市町村負担率により負担金を支払っている。
小計	12 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	3	3	形原漁港区域内にあり、地元漁業関係者からの要望により事業推進された。
合計	15 /15 満点中	15 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	現在の事業の進め方で十分効果があった。
------	---	---	---------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

県に対し、事業の推進を要望した結果、目標どおり平成17年度で完了となる。

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2253
事業コード		事務事業名	蒲郡港ボート天国事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	港湾

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民に対し
手 段	蒲郡まつりにおいて、港湾内の一定海域をボート天国のために開放することにより
想定する成果	海洋レジャー活動の普及及び海洋思想の高揚を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
補助金額	800千円	800千円	800千円
実行委員会事業費	1,317千円	1,241千円	1,482千円
参観者	6,000人	7,000人	6,500人
参加者	992人	786人	700人

④成果指標

成果指標名	①	②
総参加率		補助率
成果指標の説明	(参観者+参加者) / 人口 × 100	補助金額 / 実行委員会事業費 × 100

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	8.8%
	実績	8.5%	9.5%	—
成果指標 ②	計画	—	—	54.0%
	実績	60.7%	64.5%	—
事業費	事業費	800	800	800
	人件費	4,059	4,018	4,140
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	4,859	4,818	4,940
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,859	4,818	4,940

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	3	補助事業として、スナメリ観察・体験コーナーの事前申込みや当日参加の巡視船「しまなみ」の見学や体験乗船等の催事を実施した。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	1	1	行政が運営するのには限度があり、民間が実施してもよい事業である。
小計	9 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	3	2	事業の計画段階から市民の参加がなされている。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	蒲郡まつりのマリンレジャー部として催事を実施し、多くの市民が参加し、マリンレジャーの活性化につながった。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成元年から実施してきたが、平成15年度からは愛知万博における「愛・地球博地域連携プロジェクト事業」として実施し、三河湾の環境PRを取り入れた。

⑧今後改善すべき点

当初の目的である海洋レジャー活動及び海洋思想の高揚も図られている。また、民間施設においても同様の行事が開催されており、民間主導型への移行が必要である。市が継続して催す催事としての必要性がないように思われる。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載